

# 新型コロナウイルス感染症への対応の概要について

## I 趣旨

道においては、各分野の専門家や関係団体の方々に構成される「北海道新型コロナウイルス感染症対策有識者会議」におけるご議論を踏まえ、道がこれまで実施してきた新型コロナウイルス感染症に係る一連の対応に関する取組について振り返り、今後の対応の方向性について、取りまとめを行った。

新型コロナウイルス感染症への対応は現在も続いており、道としては、7月26日の第8回会議以降、いただいたご意見について、対策に反映すべきものは速やかに反映しているところであり、今後、この対応方向を踏まえるとともに、さらにウイルスの変異やワクチン、治療法など感染症を取り巻く状況の変化に応じて、より実効性の高い対策の推進に努める。

(対象期間：2021(令和3)年1月～7月)

## II 北海道新型コロナウイルス感染症対策有識者会議の開催経緯

### 【構 成 員】

石井 吉春 (北海道大学公共政策大学院客員教授 ※座長)  
加藤 敏彦 (北海道老人福祉施設協議会 副会長)  
柴田 達夫 (北海道町村会 常務理事)  
柴田 倫宏 (北海道農業協同組合中央会 専務理事)  
瀬尾 英生 (北海道経済連合会 専務理事)  
高橋 聡 (札幌医科大学感染制御臨床検査医学講座 教授)  
田端 綾子 (ラベンダー法律事務所 弁護士)  
坪田 伸一 (日本労働組合総連合会北海道連合会 総合政策局長)  
出井 浩義 (北海道市長会 事務局長)  
水上 丈実 (北海道教育大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻 教授)  
三戸 和昭 ((一社)北海道医師会 常任理事)

※敬称略

### 【開催経過】

	日 時	実施方法	議 事
第8回	7月26日(月) 17:45～19:45	オンライン	(1) 議論のポイント (2) 新型コロナウイルス感染症への対応状況について
第9回	8月24日(火) 18:00～20:00	オンライン	(1) 主な論点と対応の考え方について
第10回	9月8日(水) 18:00～20:00	オンライン	(1) 新型コロナウイルス感染症への対応について

### Ⅲ 構成と記載内容

#### 1. これまでの主な動き

国や道における感染対策に関するこれまでの主な動き

#### 2. 道の対策

道の対策、警戒ステージの変遷

#### 3. 道民への情報発信

知事記者会見、SNS・ホームページなど、各種広報媒体を活用した情報発信

#### 4. 検査体制の状況

地域外来・検査センターの設置状況、PCR検査等可能数、発熱等診療・検査医療機関の状況、デルタ株の検査状況

#### 5. 医療提供体制の状況

3次医療圏ごとの即応病床数、宿泊療養施設の状況

#### 6. ワクチンの接種状況

新型コロナワクチン接種の取組状況等

#### 7. 休業要請及び営業時間短縮等の協力要請

休業要請及び営業時間短縮等の協力要請の変遷、要請に係る支援金の概要等

#### 8. 生活困窮者対策

生活福祉資金特例貸付の状況、自立支援事業の実施状況、生活保護の申請状況、ひとり親世帯への支援

#### 9. 今後の対応方向

有識者会議における議論を踏まえた主な課題と対応の方向性

##### (1) 感染防止対策と医療体制の確保

###### ○対策の基準等

- ・国とのステージ分類や指標の統一について見直し、今後、国の検討状況を踏まえ、改めて適切な見直しを実施
- ・道の警戒ステージに基づき適切な運用を図り、様々なデータをモニタリングしながら、感染状況や医療提供体制について分かりやすく情報発信し、時機を逸することなく必要な対策を実施

###### ○効果的な情報発信

- ・記者会見での知事の呼びかけ、あらゆる広報ツールの活用、専門的知見を活用した効果的な手法の検討等により、対策の必要性や効果を丁寧に説明し、対策への理解と協力を得られるよう分かりやすく情報発信
- ・国や専門家等が示す正しい情報の発信など、コロナ感染症に関する普及啓発を実施
- ・都道府県間の移動自粛について、国による呼びかけや道外空港での搭乗前検査の継続実施など、知事会を通じて国へ要請、SNSなどにより来道者へ積極的に普及啓発

## ○検査・医療提供体制の整備

- ・地域の実情に即した病床や宿泊療養施設の確保、訪問・オンライン診療等の在宅医療や外来医療体制の整備、臨時医療施設のあり方などを総合的に検討
- ・ワクチン接種と並行して、迅速な行政検査の実施や抗原検査キット等を有効活用
- ・三次医療圏毎の医療提供体制の状況など、データを用いた情報発信
- ・抗体カクテル療法について、医療機関の実施支援及び安定供給を国に要望

## (2) 日常生活と社会経済活動

### ○日常生活や事業継続への支援

- ・生活福祉資金の特例貸付や相談対応など、コロナ禍で生活支援が必要な方々を継続的に支援
- ・事業者への支援金給付や休業要請への協力支援金支給、感染防止対策への支援、制度融資など、幅広い事業者を継続的に支援
- ・全道及び各圏域の感染状況等に応じた効果的なタイミングでの消費喚起策の段階的实施

### ○北海道スタイルの見直し

- ・実践状況の「見える化」など、北海道スタイルの理解と実践をより一層促進
- ・ワクチン接種や変異株の状況なども踏まえ、「北海道スタイル」の新展開を検討

### ○学校教育の対応

- ・児童生徒や家族の感染を即時に把握し、幅広い休業の実施により、学校における感染拡大と集団感染の防止を徹底、必要に応じて検査キットを活用
- ・1人1台端末を活用したオンライン学習を積極的に実施するよう、各市町村や各学校を個別に指導・助言

## (3) 今後を見据えた取組

### ○ワクチン接種の推進

- ・市町村間のワクチン融通を積極的に調整するとともに、ワクチンの安定供給について、道独自や全国知事会など、あらゆる機会を通じて国へ要望
- ・希望されるあらゆる世代の方に一日も早くワクチン接種を受けていただけるよう、接種の加速化に向け、市町村の取組を支援
- ・ワクチン接種後の基本的な感染防止対策の必要性について周知を徹底
- ・ワクチン接種に関する正しい理解が得られるよう、大学との連携など、若年層の接種促進等に係る広報を実施

### ○児童生徒の学びの保障

- ・児童生徒の学びの保障や持続可能な感染防止対策について改めて検討、ICTを最大限に活用したアフターコロナにおける学校教育のあり方を検討

### ○出口戦略の検討

- ・国では、基本的対処方針において、ワクチン接種の進捗状況を踏まえ、緊急事態措置区域等における行動制限の縮小・見直しについて、地方公共団体や事業者等との議論や技術実証を行い、具体化を進めることとしている
- ・道では、国の動向を注視するとともに、感染状況やワクチン接種の進捗などを踏まえ、有識者等の意見を伺いながら、日常生活の回復と社会経済活動の段階的な再開について、できる限り速やかに道としての対応を検討